

平成25年度当初予算の概要について

【一般会計当初予算】 46億3,000万円

当町の平成25年度一般会計当初予算額は46億3,000万円で、平成24年度当初予算額50億8,000万円と比較すると、4億5千万円(8.9%)の減額となりました。これは、25年度に予定していた事業の多くを、24年度補正予算に前倒しで計上するためであり、前倒し分を含めた予算額は、前年度を大きく上回ります。

歳入では、町税は増収見込みとなるものの、交付税は減額を見込みました。学校建築基金繰入金は減額し、当初予算では財政調整基金繰入金は見込んでいません。歳出では、新規統合中学校建設事業では設計委託料を見込みました。各小学校図書室エアコン設置工事費や各小学校トイレ洋式化工事費等を計上し、中学校に心の教育相談員費用を見込むことにより、学校教育の充実に努めます。また、国庫補助金の市街地整備総合交付金を活用し、松浦家建物庭園調査設計業務委託費、森林セラピー関連業務委託費、防災交流センター設計業務委託、スマートインターチェンジ調査委託などを見込みました。また、社会资本整備総合交付金を活用し、町道天神北金井1号線整備費(設計・土地購入等)を見込み、町全体の発展を図る予算としました。その他では、甘楽ふるさと館基本調査委託費、乗合タクシーデマンド運行試行費用、神の池公園整備工事費、八幡山遊歩道整備工事費、織田信長サミット関連費用、町民の日こなもんまつり費用などを見込み、2回目となるキラッとかんら観光キャンペーン関連費用は各担当課で計上しました。

歳入の主な財源をみますと、町税では、個人住民税が景気持ち直しにより43,400千円の増収を見込むほか、法人住民税でも、13,150千円の増収を見込んでいます。また、固定資産税は、新築家屋の伸び悩み等により1,700千円の減収を見込みましたが、町たばこ税は15,000千円の増収を見込みました。その結果、町税全体では前年対比71,211千円(5.7%)の増収となる見込みです。

自動車取得税交付金は、8,000千円の増収を見込みますが、利子割交付金は1,000千円の減収を見込んでいます。

地方交付税のうち普通交付税では、24年度決算見込みより更に落ち込み、124,000千円(6.9%)の大幅減を見込みました。

国庫支出金では、予定事業の24年度への前倒し等により前年対比86,421千円(21.7%)の減額を見込みました。

県支出金では、林道整備事業や観光施設整備事業の減等により、36,851千円(11.3%)の減額を見込みました。

町債では、臨時財政対策債を16,000千円減とし、防災対策事業債が32,000千円減となるため、全体では前年対比48,000千円(14.7%)の減額を見込んでいます。

歳出の性質別で見ますと、投資的経費では、前述した新規統合中学校設計委託、各小学校図書室エアコン設置工事費、防災交流センター設計委託等があるものの、前倒し実施による影響もあり、前年度対比380,440千円(57.2%)の大幅減となりました。

また、義務的経費では、人件費の減(33,408千円)、元金・償還利息の減少により公債費の減(43,285千円)の一方で、扶助費では、障害者自立支援の権限移譲等により、27,859千円の増となり、前年対比48,834千円(2.3%)の減額予算で、予算全体の45.0%(2,129,337千円)を見込みました。物件費は、賃金・使用料及び賃借料が減となったため、需用費・委託料が増となったものの9,884千円の減となりました。一方で、補助費等は10,628千円の増となりました。

特別会計別の状況

会計名	当初予算額	前年度当初予算額	差引増減	対前年比	備考
国民健康保険事業	1,555,000	1,546,500	8,500	0.5	歳入は基金繰入金の増等による 歳出は高額医療費拠出金の増等による
介護保険事業	1,002,500	981,200	21,300	2.2	保険給付費増(25,299千円)等による
農業集落排水事業	139,000	148,000	▲ 9,000	▲ 6.1	維持管理費の減(8,999千円)等による
公共下水道事業	533,300	563,700	▲ 30,400	▲ 5.4	建設費の減(24,904千円)等による
後期高齢者医療	116,200	121,900	▲ 5,700	▲ 4.7	広域連合納付金の減(5,691千円)等による
水道事業(企業会計)	601,641	295,308	306,333	103.7	収益的支出が前年対比で、17,000千円の減 資本的支出が前年対比で、323,333千円の増
合計	3,947,641	3,656,608	291,033	8.0	



【一般会計歳入予算】

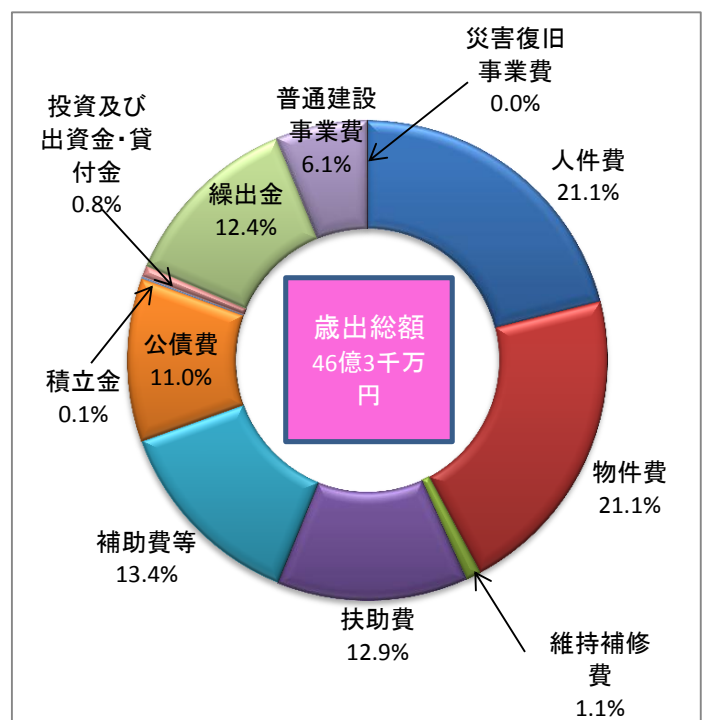
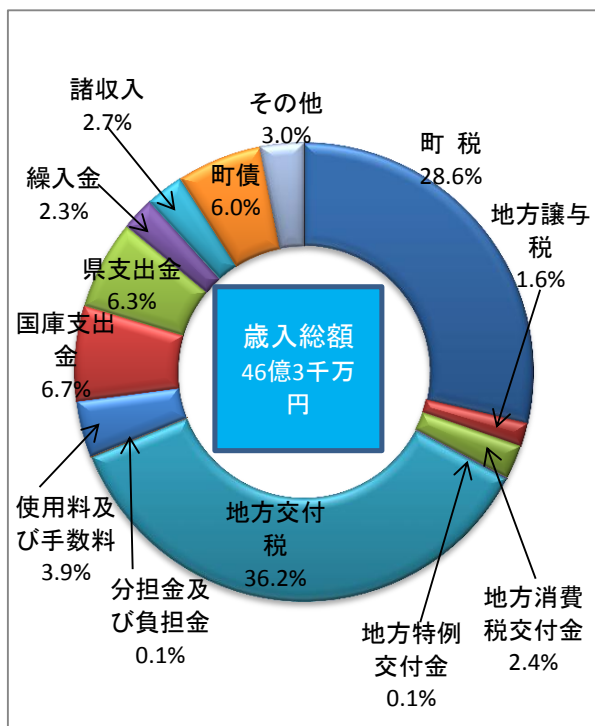
単位:千円・%

項目	当初予算額	前年度当初予算額	差引増減	対前年比	構成比	備考
町 税	1,324,281	1,253,070	71,211	5.7	28.6	個人・法人住民税の増など
地方譲与税	76,001	76,000	1	0.0	1.6	前年並みを見込む
地方消費税交付金	110,000	110,000	0	0.0	2.4	前年並みを見込む
地方特例交付金	6,000	6,000	0	0.0	0.1	前年並みを見込む
地方交付税	1,675,000	1,799,000	▲ 124,000	▲ 6.9	36.2	24年度決算見込から更に減を見込む
内、普通交付税	1,575,000	1,719,000	▲ 144,000	▲ 8.4	34.0	
内、特別交付税	100,000	80,000	20,000	25.0	2.2	実績から増を見込む
国庫支出金	311,865	398,286	▲ 86,421	▲ 21.7	6.7	前倒しによる国庫金の減など
県支出金	289,615	326,466	▲ 36,851	▲ 11.3	6.3	子どものための手当県負担金の増など
繰入金	108,373	339,703	▲ 231,330	▲ 68.1	2.3	林道整備事業費の減などによる
町 債	278,600	326,600	▲ 48,000	▲ 14.7	6.0	防災対策事業債の減などによる
その他	450,265	444,875	5,390	1.2	9.7	使用料の増等による
合 計	4,630,000	5,080,000	▲ 450,000	▲ 8.9	100.0	

【一般会計歳出予算】

単位:千円・%

項目	当初予算額	前年度当初予算額	差引増減	対前年比	構成比	備考
議 会 費	80,855	82,578	▲ 1,723	▲ 2.1	1.7	議会運営経費の減による
総 務 費	644,106	685,047	▲ 40,941	▲ 6.0	13.9	庁舎等管理経費の減などによる
民生費	1,212,893	1,189,831	23,062	1.9	26.2	障害者福祉費の増などによる
衛生費	408,028	395,441	12,587	3.2	8.8	塵芥処理費の増などによる
労働費	10,015	10,015	0	0.0	0.2	前年並みを見込む
農林水産業費	342,490	368,647	▲ 26,157	▲ 7.1	7.4	林道整備事業費の減などによる
商工費	93,424	107,683	▲ 14,259	▲ 13.2	2.0	観光施設整備事業費の減などによる
土木費	350,078	469,293	▲ 119,215	▲ 25.4	7.6	秋畑地区交通・交流拠点整備費の減などによる
消防費	247,439	293,129	▲ 45,690	▲ 15.6	5.3	防災基盤整備事業費の減などによる
教育費	722,611	916,990	▲ 194,379	▲ 21.2	15.6	新規統合中学校建設事業費の減などによる
災害復旧費	11	11	0	0.0	0.0	科目存置分のみ
公債費	508,050	551,335	▲ 43,285	▲ 7.9	11.0	元利償還金の減による
予備費	10,000	10,000	0	0.0	0.2	
合 計	4,630,000	5,080,000	▲ 450,000	▲ 8.9	100.0	



◇一般会計における主な事業内容

単位:千円

事業名	事業費	内 容 等
【住民・福祉・医療関係】		
まちづくり定住応援金事業	4,500	取得した住宅の初年度の固定資産税相当額を交付する。
福祉医療事業	109,239	福祉医療の充実を図るため、中学生までの医療の無料化(通院・入院)を実施。
障害者自立支援事業(拡充)	216,318	障害者自立支援法に基づき、居宅支援・短期入所・施設支援などの援助事業。権限移譲により増額。
保育園運営事業	75,178	保育の充実を図るとともに、保育環境の改善を実施する。保母(臨職)の待遇改善を行う。
予防接種・保健事業(拡充)	48,184	予防接種の実施(おたふく風邪・水痘接種助成は新規実施)及び各種ガン検診の実施。
母子保健事業(拡充)	13,324	従来の健診などのほか、新規で子育て支援としてブックスタート事業を開始。
子育て支援事業(拡充)	5,800	出産祝金に加え、新規で3世代同居世帯子育て奨励金を商品券方式で交付する。
児童手当支給事業(改編)	214,951	三歳以上中学生までひとりあたり月額1万円(小学生までの第3子以降は1万5千円)、三歳未満1万5千円の支給を行う。
【保健衛生・環境対策関係】		
ごみ収集処理委託事業	117,866	ごみの収集から運搬、焼却処分までの事業。一層のごみ減量化を図る。
ごみ埋立処理事業	22,239	最終処分場における、ごみ処理・保守点検・検査委託等。処分場の延命に留意する。
し尿処理事業	29,117	富岡甘楽衛生施設組合への負担金及び合併処理浄化槽設置者への補助事業。
健康づくり推進事業(一部組換)	3,093	従来からの健康祭のほか、第2回さくらウォーク(4月6日)を行う。
環境対策事業	10,931	リサイクル補助・住宅用太陽光発電補助等を行う。
【産業・商工振興関係】		
観光振興・観光施設整備事業(一部新規)	18,044	稲含山神の池公園等の整備を行う。町オリジナルキャラクターを募集する。
金融対策事業	26,675	町内中小企業の振興を図るため、運転資金、設備資金借入に対する利子補給。
土地改良事業	13,394	鎌倉街道側溝整備や北金井農業用水路布設を行い、周辺土地の基盤安定を図る。
林道整備事業	37,089	芳ノ元線等舗装や草喰・八丁河原線(大平・白倉・鳥屋・天引工区)の林道整備事業等行う。
甘楽ふるさと館等管理運営事業	73,556	ふるさと館の運営のほか、増築工事の調査委託を行う。
長岡今朝吉記念ギャラリー運営事業	8,262	ギャラリーの維持管理(賃金、絵画保険、パンフレット印刷費等を計上)を行う。
林業振興事業	19,243	林業再生緊急路網整備のほか、林業経営作業道開設補助等を行う。
【道路・都市整備関係】		
道路新設改良事業	33,161	天神北金井1号線工事等のほか、スマートインター調査委託等を行う。
町道維持補修事業	10,256	町道の安全を図るための舗装・維持補修工事等を行う。
歴史的風致形成建造物改修事業(新規)	13,688	松浦氏屋敷建物及び庭園の調査・実施設計を行う。
都市計画総務経費(拡充)	8,814	経常経費のほか、新規で森林セラピー設計等業務委託を行う。
福島白倉地区都市再生整備事業(新規)	10,713	防災交流センター設計業務委託等を行う。
都市公園管理事業	15,251	甘楽総合公園等の遊具管理、植栽管理、維持管理等(シルバー人材センターへの委託を含む)。
【消防・防災対策関係】		
防災基盤整備事業	5,000	防火水槽(1基)を設置する。
【教育・文化・スポーツの充実関係】		
楽山園運営事業	16,900	国指定名勝楽山園及び番所・凌雲亭の維持管理を行い、誘客を図る。
文化会館運営事業	47,003	「薪能」等自主事業を実施する。舞台設備の大規模改修等を行う。
小学校施設維持管理事業(拡充)	38,096	各小学校で図書室エアコン設置工事及びトイレ洋式化工事等を行う。
中学校運営事業(拡充)	27,373	経常経費のほか、新規で心の教育相談員を設置する。
新規統合中学校建設事業	85,000	校舎・体育館・給食センター・附属建物の基本・実施設計を行う。
【国際交流関係】		
ハルビン市・チェルタルド市交流事業	7,715	(ハ)中学生派遣・受入(チェ)30周年で、11次使節団受入、12次使節団派遣。
【バス路線等確保関係】		
幹線交通対策事業(拡充)	39,068	乗合タクシー・上信電鉄への助成を行う。デマンド試行業務委託を行う。
【交通安全対策関係】		
交通安全対策事業	6,685	交通安全のための各種啓発活動やカーブミラー等の設置工事。反射ベストを購入。
【情報技術関係】		
電算経費	84,705	行政事務の電算化による事務の効率化と住民サービスの向上を図る。研修用パソコンを更新する。
【その他関係】		
地域間交流事業(拡充)	2,079	北区との交流のほか、第25回織田信長サミットを4月13日に開催する。
企画調整経費	13,315	第6回町民の日こなもん祭り(仮)、第2回はがき絵コンクール等を行う。

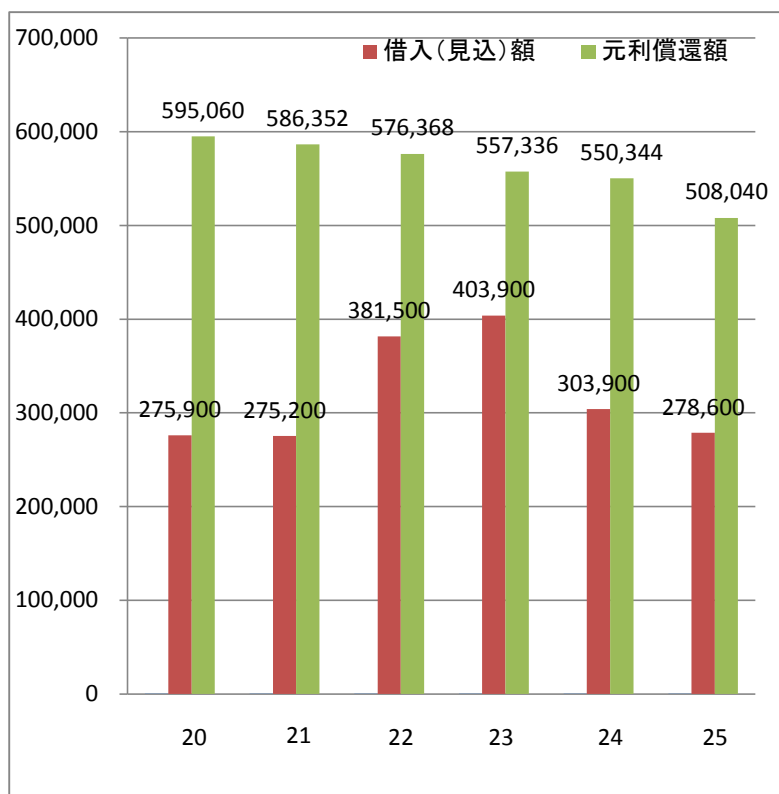
地方債借入額及び償還金の推移(一般会計)

単位:千円

年度	借入(見込)額	元 利 償 還 額	年度末 償 還 残 高
20	275,900	595,060	4,682,569
21	275,200	586,352	4,450,580
22	381,500	576,368	4,328,072
23	403,900	557,336	4,241,018
24	303,900	550,344	4,056,374
25	278,600	508,040	3,882,843

地方債残高は、大規模な施設整備の減少により、平成13年度末(残高 60億1,600万円)をピークに年々減少しており、平成25年度末には、38億円台を見込んでいます。今後も財政状況を考慮しながら、適債発行に努めます。

平成25年度末償還残高見込みは平成20年度末対比で マイナス17.1%です。なお、20年度からの借入の増加傾向は、臨時財政対策債の増加が主な要因であり、23年度は小幡小体育館分の起債が影響しております。



基金残高の推移(一般会計)

単位:千円

年度	財政調整基金	減債基金	その他特定目的基金	基金残高の合計
20	1,088,610	86,214	791,199	1,966,023
21	1,169,984	86,419	1,134,776	2,391,179
22	1,201,795	86,501	1,183,084	2,471,380
23	1,206,567	86,588	1,407,997	2,701,152
24	1,120,071	86,647	992,910	2,199,628
25	1,120,822	86,691	890,680	2,098,193

財政の健全化や安定化を図るため、経費の節減や人件費の削減等を実施した効果により、平成23年度末までは基金残高は増加しましたが、24年度は、新規統合中学校用地取得のため取り崩しを行い、25年度以降も取崩しが予定されております。25年度末は21億9,800万円の残高を見込んでいます。地域福祉の向上や学校統廃合に備えるため、今後も経費を節減し、基金の取り崩しを最小限に抑えるよう努めます。

